

Epistula

【芸短祭・フェスタ応援号】

epistula, ae, f. 手紙, 文書〔ラテン語〕
(研究社『羅和辞典』より)

大分県立芸術文化短期大学

エピスタラ

2009
10▶12
vol. 17

芸短祭・芸短フェスタ 開催です!!

芸術の秋。文化の秋。○○の秋。にぎやかな季節がやってきました。

「芸短祭2009」は、10月24日(土)、25日(日)の両日、本学において開催です。



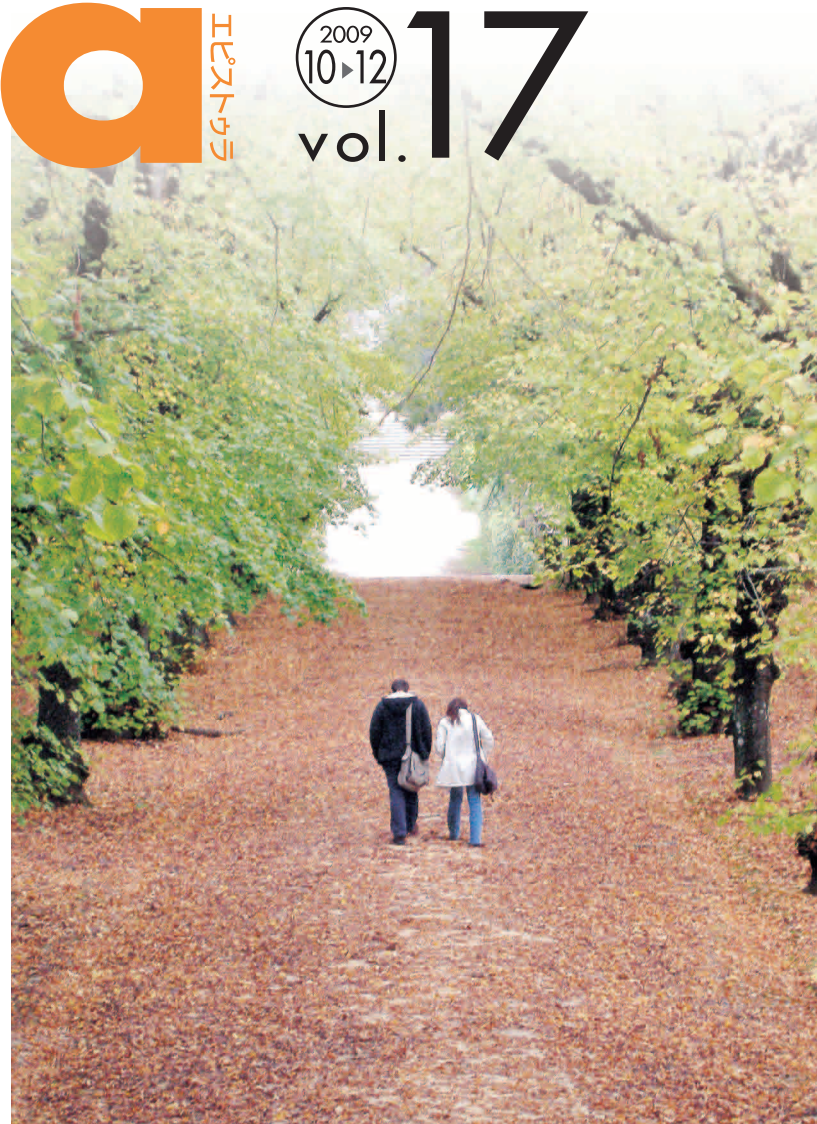
また、10月～12月は恒例の「芸短フェスタ」期間。20以上のイベントが、県内各地で催されます。

●詳しくは4面です

速報!!

情報コミュニケーション学科「体験をスキルに変えるナラティブ能力養成ーサービスラーニングを中心とした自己の物語を探し創り発信する能力の形成プログラムー」(吉良伸一教授・高橋雅也講師)が文部科学省平成21年度大学教育推進プログラムに採択されました。平成21年度～23年度の3年間、文部科学省の財政的支援の下で取り組みの充実と情報発信を行うことになります。応募649件のうち採択96件という厳しい条件の中、本学の地道な取り組みが認められる形となりました。

●詳しくは本学HPで



盛り上がりました!平成21年度第1回オープンキャンパス

7月19日(日)、平成21年度第1回オープンキャンパスを開催しました。これは、本学への進学を検討している高校生と保護者・高校教員の皆さんに、本学の教育内容を広く実地に体験していただくことを企図して毎年開催しているものです。当日は400名を越える参加があり、キャンパスもいつもとは違う熱気にあふれていました。また、各学科の入試相談や音楽科の体験レッスンでは、未来を見つめる熱いまなざしが印象的でした。参加者の皆さん、ありがとうございました。



別府ビーコンプラザと交流協定締結[8月4日]

別府市のランドマーク、ビーコンプラザの運営主体「ビーコンプラザ共同事業体」と本学との間で、友好交流協定を締結しました。ビーコンプラザ開館15周年事業として、県民公募によるオペレッタ劇上演に際し、音楽科教員による監修及び指導協力が主な内容になります。本学と公的施設運営主体との協定は、本年3月のiichiko総合文化センター・財団法人大分県文化スポーツ振興財団との友好交流協定に続き、2番目になります。大分の芸術と文化の発展を目指す仲間として、ともに歩んで行きたいと思います。



君は見たか? JR駅貼りポスター!

8月31日(月)～9月13日(日)の2週間、本学のオープンキャンパス告知ポスターを、JR大分駅、小倉駅、別府駅、熊本駅、宮崎駅、延岡駅に掲示しました。

根之本教授デザインはこのポスター、青と黄色の若々しい印象で、つい足を止めて見ている人もいました。



バルーキン教授来学[8月20日]

ロシア人芸術家であるエフゲーニ・ペトロビッチ・バルーキン教授が、8月20日(木)に来学されました。バルーキン教授は、バレエ教師を育成するロシア国立舞台芸術アカデミア・バレエ学部長を務められており、大分県芸術文化振興会議の招きにより21年連続で来県されています。本学への来学は、平成元年8月に初来県した際、本学体育館で県洋舞踏協会主催によるバレエ講習会を開催して以来のことです。今回は、バレエを通しての芸術文化活動について中山学長、各学科の学長と約1時間の意見交換を行いました。



授業料引き落としのお知らせ

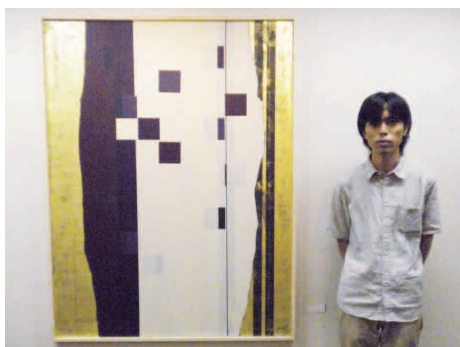
後期授業料は10月27日(火)に指定された金融機関の口座から引き落とされます。
※10月26日(月)迄に授業料(195,000円)のご入金をお願いします。

美術科

4

8月19日(水)から30日(日)まで、美術科の八木明知助教が福岡市中央区のギャラリーレコルテで個展『八木明知展』を開催しました。

今回の個展では、パネル・カンヴァス・岩絵具・箔・墨・アクリルメディウム・アクリル絵具を材料として、日本が古来より継承し、熟成し、発展させてきた、美意識・装飾美・精神性を、抽象表現した平面作品、9点(80号(3号)を展示しました。



音楽科

4

大分県文化振興財団と本学の提携により結成された「chicko」グランシアタ・ジュニアオーケストラの指導のため来県しているNHK交響楽団団員による第2回目の芸短大生を対象にした特別公開レッスンは8月24日(月)、本学音楽棟小ホールで行われました。

今回はホルン奏者、日高 剛氏による公開レッスンで、本学音楽科管弦打コース(ホルン)短大1年生3名、2年生1名、及び専攻科音楽専攻管弦打コース(ホルン)2年生1名の合計5名の管弦打コース(ホルン)の学生が受講しました。



国際文化学科

4

毎年恒例、夏期海外語学実習。今年も無事行われました。今年度の参加者は、イギリス、バース・スパ大学で14名、オーストラリア、クイーンズランド・インターナショナル・ビジネス・アカデミーで5名、中国・北京語言大学で2名、韓国・ソウル市立大学で6名の学生が研修を受けました。

1ヶ月足らずの短い期間ですが、海外での経験を将来に生かしてほしいと思います。

※参加者数は、国際文化・情報コミュニケーションへあわせての人数です



情報コミュニケーション学科

4

情報コミュニケーション学科では、公開講座「こころってなあに?」―高校生の心理学入門―を、7月18日(土)、25日(土)、8月1日(土)の3回にわたって実施しました。この講座は、高校生を対象に、高校では学ぶことが出来ない「心理学」を、実験や実習も取りまぜて楽しく分かりやすく学んでいただくものです。何かと多忙な高校生ながら、受講者は20名を越え、「こころ」という身近で未知な学問の世界を積極的に楽しんでいます。



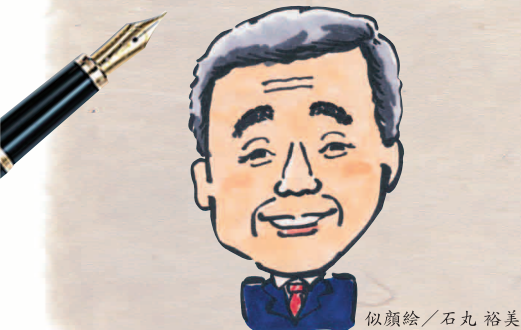
公開講座『こころってなあに?』実施しました。

学長コラム

中山 欽吾

<テーマ>

京都研修旅行に参加して



8月26日(水)から2泊3日で、国際文化学科で日本美術史を教える水野先生と美術科で日本画を教える河上先生に引率され、副手と学生達有志36名が参加した京都研修旅行に、私も夫婦で参加させていただきました。実は丁度40年前、新婚旅行で京都を訪れていたのですが、その時には有名な幾つかのお寺を訪問したばかりで、表面的な京都見物に留まっていた。その後、東京の幾つかの美術館で、珠玉の日本美術を観る機会は何度ありましたが、やはり京都の歴史の深みの中で観るのとは違います。今回、水野先生から教わっている学生達が昨年に続いて研修旅行をするという話を聞いて、みんなと一緒に京都を勉強し直してみたいと思ったのはこんな訳があったのです。

参加者が多いので、少しはお手伝いにもなるかと思ったのですが、結局一緒になって感心したり感激したりの3日間でした。建物でいえば、京都御所の寝殿造、本願寺の書院造、曼殊院門跡の数寄屋造、京都島原にある角屋の揚屋建築、そして京都の町家と歴史的にも形式的にも多彩な建築を楽し

むことができました。曼殊院は中に上がって隅々まで拝観でき、角屋では閉館中のところを特別に開けてくださり、保存会の理事長自らが詳しく案内してくださいました。絵画では、尾形光琳、酒井抱一、鈴木其一など江戸時代を彩った琳派の巨匠や、伊藤若冲の見事な絵の数々を堪能できた相国寺承天閣や細見美術館、工芸ではバリ万博でヨーロッパの人たちを魅了した並河靖之の七宝記念館、そして紫織庵は様々な京友禅の織物や、保存されている貴重な屏風絵を観ることのできる町家の美術館でした。説明に立ったご主人は私立の美大でも染色を教えておられる方でしたが、畳の部屋では屏風は座った目線で観るのだという説明に、全員きちんと正座をしてハンケチで口を押さえながら熱心に耳を傾ける学生達の鑑賞態度をみて、感心しておられたのが印象的でした。

三条大橋に程近い、外人客も多い旅館に合宿したのを良いことに、朝早く抜け出して加茂川の風景をスケッチできたのはおまけですが、暑さを忘れたざっしり詰まった旅でした。

<連載>

まち 芸術と文化の都市めぐり

第1回 ウィーン(オーストリア)

ウィーンは、ヨーロッパ随一の王朝・ハプスブルク家の都であり、その芸術文化もまた、彼らと深く結びついています。ここでは、ウィーンを訪れる人が必ず目にするであろう、いくつかの建築についてのみご紹介しましょう。

旧市街の中心にある聖シュテファン大聖堂は、14世紀の君主ルドルフ4世が、古い聖堂をより壮麗に改築するよう命じてできあがったものです。本来、この聖堂には2本の塔が並び立つはずでしたが、完成したのは片方の塔のみで、その特徴的な姿のままで人々に親しまれています。

その後、東方の大国オスマン・トルコの脅威のもとで、ウィーンは堅固な城壁を備えた要塞都市と化し、実際にトルコ軍による2度の包圍攻撃を耐えしのぎました。この町が、華やかに芸術の花開く宮廷都市となったのは、この戦争が終結した18世紀以降といえます。郊外には広大な庭園を備えた宮殿が次々に造営され、その代表は、マリア・テレジアの時代に完成されたシェーンブルン宮殿です。

19世紀後半には、フランツ・ヨーゼフの勅命で、かつてウィーンを守った城壁が取り壊され、代わって環状道路と公共建築群が作られました。このとき建造された国会議事堂、市庁舎、大学、美術館などは、今も現役で使われています。宮殿のような外観に華麗な内装が施された美術史美術館では、ハプスブルク家が数世紀にわたって収集した美術品が所蔵・公開されており、多くの人々を魅了し続けています。

(国際文化学科 准教授 高瀬圭子)



▲シェーンブルン宮殿



▲美術史美術館



▲聖シュテファン大聖堂

My School Life Report My School Life Report

日本画作品展『遊星』

8月15日(土)～30日(日)まで湯布院町のドルドーニュ美術館で、美術科で日本画を学ぶ在学生と現在も制作を続ける卒業生、河上央教授が作品展を開催しました。在学生と卒業生、教員が参加する初の試みでした。



通常、ドルドーニュ美術館は本学学長を務めた宇治山哲平氏の作品を中心に展示している築120年の古民家を改装した美術館です。

今回は、その館内に16名が制作した約20点の作品をゆったりとした雰囲気で開催していました。



声楽特別講義を受講して

御歳79才とは思えぬ燦然と輝く魂のこもった声が、今年も芸短小ホールに響き渡った。厳しくも愛情溢れる瀬山詠子先生のご指導を受けることが出来、我が芸短学生にとっては貴重な経験となったであろう。長年東京藝大で教鞭を執られ、また、数多くの舞台経験をお持ちの先生のお言葉一つ一つに重みがある。学生にとってみれば、音楽史上の人物であろう作曲家、山田耕筰氏や中田喜直氏らとのエピソードに触れられることも、その時代の音楽界を生き抜いてきた先生ならではの講義といえる。学生たちが、この時間がいかに貴重であるかということにどれだけの自覚を持っているか定かではないが、成長と共に必ずや、先生のお言葉を思い出す時が来るであろうということを、信じて疑わない。



<2009年8月6日(木)～9日(日) 瀬山詠子講師による声楽特別講義より>

専攻科音楽専攻声楽コース2年 堀 薫

8月6日(木)～9日(日)、瀬山詠子先生の公開レッスンを受講しました。私は今回で3回目の受講になるのですが、「声」を一つの「楽器」として磨き上げ、豊かな日本歌曲特有の情感を奏でるための大きな知識を毎年得る事が出来ました。声楽発声法での克服しなければならない課題として、先生は「喉で歌わない発声」、「よりクリアな発声での明確な日本語発音」を、毎年変わらず指導していらっしゃいました。

曲の構成、詩の内容においての適切な表現方法など、聴講という形で他の生徒のレッスンにも立ち会え、多くの曲を学び、触れる事が出来ました。

今回までの公開レッスンで学んだ事を活かし、私も今後の勉強に取り組みたいです。

My School Life Report My School Life Report

「SAEMON23」 第36回清正公二十三夜祭歩行者天国

感想



情報コミュニケーション学科1年 成松美由紀

一から創り出すことがこんなに大変だとは思わなかった。今までは踊りのチームを作っただけの参加だったが、今回からはステージ企画なども行った。私は清掃班として活動してきた。私の地元のお祭りなので、次の日の鶴崎を知っている。ゴミがたくさん落ちていてすごく汚い。あんなに盛り上がっていいお祭りだったのと思っていた。でも、今回、袋をデザインし、地域の人に活動をチラシで伝え、ゴミを袋に入れて持ってきた人には、綿菓子をおあげることにした。当日は小さい子ども達を中心となって手伝ってくれた。終わったとき本当に活動して良かったと思った。

大分七夕まつり

感想



情報コミュニケーション学科1年 小峰華須美

私は8月8日(土)に行われた大分七夕まつり2日目のイベント、七夕ブロードウェイと府内打ち水大作戦に参加しました。朝10時から城址公園で風船にヘリウムガスを入れて結ぶという作業を行いました。いくら膨らまして準備してある風船が全く減りません。それもそのはず、15,000個もの風船があったのですから。15,000個という数の風船を膨らませるのは想像していたよりとても大変でした。そんな苦労があったので、風船をリリースした瞬間は今までに感じたことがないくらいの達成感で満ち溢れました。夜空に舞い上がっていく15,000個の風船を眺めていると疲れていることなんて忘れてしまうし、参加して本当によかったと思いました。

GEITAN INFORMATION 2009.10▶12

ゲイタン★インフォメーション

◆第45回 定期演奏会のお知らせ

今回の定演は「ピアノ協奏曲」で勝負！！メンデルスゾーン17才の作品「カプリッチョ・プリランテ」、甘く切ない旋律で歌い上げるラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」。オーディションによって選ばれたソリストの学生たちが果敢に挑みます。

日 時／2009年10月12日(月・祝)
時 間／開場18:00 開演18:30 入場無料(要整理券)
場 所／iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ

【合 唱】 三善 晃 作曲 三つの叙情 他 指 揮：森口 真司(教員) ピアノ：鳥羽 春花(演奏員)、後藤 秀樹(演奏員) 合 唱：大分県立芸術文化短期大学合唱団 【管弦楽曲】 ハチャトゥリアン作曲 バレエ音楽『ガイーヌ』より 指 揮：森口 真司(教員) 管弦楽：大分県立芸術文化短期大学管弦楽団	【ピアノ協奏曲】 1.メンデルスゾーン作曲 カプリッチョ・プリランテ 作品22 ピアノ独奏：山名 祥子(専攻科1年) 2.ラフマニノフ作曲 ピアノ協奏曲 第2番ハ短調 作品18 ピアノ独奏：I. 越智可奈子(専攻科2年) II. 山元 麻也(専攻科1年) III. 生野奈都美(専攻科2年) <1・2共に> 指 揮：森口 真司(教員) 管弦楽：大分県立芸術文化短期大学管弦楽団
--	--

◆芸短祭2009 今年のテーマは『破天荒』

今年の芸短祭は、さらにパワーアップ！！「破天荒」に行きます。

10月24日(土)・25日(日)の両日、トークセッション「女性に学ぶ女性と仕事」を本学人文棟で開催。マスコミを中心に活躍する4人の女性をお招きし、お話をうかがいます。



撮影者・情報コミュニケーション学科2年 神田真帆子

その他、各種ステージや、オジンオズボーン、そしてアイヒマンスタンダードのお笑いショーなど、イベント・アトラクション盛りだくさんの2日間。「破天荒」に楽しんでください。

また、例年は本学メインステージで行っていた芸短名物「ファッションショー」を、今回は10月31日(土)に市中心部ガレリア竹町「ドーム広場」で行います。学校の敷地を飛び越えた芸短生の若き感性に乞うご期待！！

◆トークセッション「女性に学ぶ女性と仕事」

10月24日(土)は、元日本テレビアナウンサー 大神いずみさん、朝日新聞「AERA」記者 木村恵子さん、クロスFM会長 鵜木有子さんが、10月25日(日)には、声優のこおろぎさとみさんといった、第一線で活躍していらっしゃる方々が有意義なお話を聞かせてくださる秋のトークセッション。入場無料です。



【10月24日】 13:30～「女子アナのお仕事」 15:00～「キャリアウーマンの実情」 17:00～「エグゼクティブな女性たち」	大神いずみ(元日本テレビアナウンサー) 木村 恵子(朝日新聞「AERA」記者) 鵜木 有子(クロスFM会長)
【10月25日】 13:00～「声で伝える演技とは」	こおろぎさとみ(声優)

◆10月・11月・12月は「芸短フェスタ」期間です。

本学では、10月・11月・12月の3か月を「芸短フェスタ」期間として、コンサートから公開講座、ワークショップまで多種多様なイベントを県内各地で行っています。下記のオススメ番組以外にも、様々な催し物を行っております。詳しくは本学HP、または芸短フェスタリーフレットをご覧ください。

10月のオススメは

公開講座

『ウィーンはいつもウィーン？－音楽の都 いまむかし－』

名曲とお話でウィーンの芸術の歴史をたどります。

第1回「ウィーン少年合唱団の生みの親から交響曲の父まで」

日 時 ● 10月3日(土) 13:00～16:30

講 師 ● 森口真司(本学音楽科准教授)、高瀬圭子(本学国際文化学科准教授)

第2回「モーツァルトから『第三の男』まで」

日 時 ● 10月17日(土) 13:00～16:30

講 師 ● 中山欽吾(本学学長)、宮本 修(本学音楽科教授)、愛甲久美(本学音楽科准教授・二期会会員)

場 所 ● 本学 音楽棟小ホール

受講料 ● 一般1,000円、高校生以下500円(受講回数に関わらず同料金)

特別出演

小林 道夫氏(本学客員教授)
佐々木典子氏(東京芸術大学音楽部准教授・二期会会員)
(第2回のみ)

11月のオススメは

GEITAN presents The Great Artists

佐藤しのぶ ソプラノリサイタル

「人の心をつなぐプリマドンナ」佐藤しのぶさんが大分来演！！



日 時 ● 11月20日(金) 開場18:00 開演18:30

場 所 ● iichiko 総合文化センター iichiko音の泉ホール

入場料 ● 2,000円(当日、前売りとも)

12月のオススメは

詳しくは
芸短フェスタ
パンフにて

創作音楽劇

アマデウス～モーツァルトの生涯～



日 時 ● 12月20日(日) 開場17:30 開演18:00

場 所 ● 大分市 コンパルホール **入場無料**

天才作曲家モーツァルトの生涯を2時間で！美術・音楽・国際文化・情報コミュニケーションに加え、2つの認定専攻科学生有志200名が集い、昨年の「ロミオとジュリエット」に続き、メディア理解の一環として実施する創作音楽劇第3弾。アニメやゲームキャラによる現代的解説と生演奏を組み合わせ、早逝の天才の喜びと苦悩そして死の真相に迫ります。誰がモーツァルトを追い詰めたのか？時を越えて登場するシャーロック・ホームズが解き明かす謎は？

GEITAN CALENDAR

ゲイタン★カレンダー

10月 October／神無月

1日[木] 履修登録変更(～7日)
12日[月] 体育の日(祝)
定期演奏会
23日[金] 芸短祭 前夜祭(18:00～)
24日[土] 芸短祭 初日
25日[日] 芸短祭 2日目
27日[火] 後期授業料引落日

11月 November／霜月

3日[火] 文化の日(祝)
22日[日] 推薦入試
23日[月] 勤労感謝の日(祝)



12月 December／師走・極月

11日[金] 月曜振替日
23日[水] 天誕生日(祝)
24日[木] 月曜振替日
25日[金] 冬季休業開始



次号のお知らせ

🖱 Epistula18「新春」号は、2010年1月1日発行予定です